

科目名		教育の方法と技術
担当教員		松田 こずえ
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。 2. 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。 3. 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。 4. 幼児期の特性を理解し、環境を通して行う教育、遊びを通しての総合的な指導の方法と実践を理解する。 5. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について理解し、小学校との接続に活かすことができる。 6. 幼児理解に基づいた計画・評価の実施について理解し、自身または勤務園の課題を示すことができる。 7. 幼児期の特性に応じた「主体的・対話的で深い学び」のための教育の方法を身に付ける。
	テキストの概要	<p>テキスト『幼児教育・保育のための教育方法論』（ミネルヴァ書房）は2021年に発行されました。本テキストでは、教職課程コアカリキュラムに沿って、幼児期にふさわしい教育の方法、関連項目について、専門的な知識を得ることができます。テキストの購読を通して、「第1部 教育の方法論とはどのようなものか」、「第2部 環境を通して行う教育の方法とはなにか」、「第3部 教育の技術の理解に必要な知識はどのようなものか」、「第4部 情報機器及び教材の活用に向けて必要な知識はどのようなものか」の4つの柱について学び、保育者としての専門性を高めていきます。</p> <p>学修の範囲： テキスト（第1章から第14章まで）を中心とした学びをもとに、理論と実践を結び付け、質の高い保育を実施できるようにしましょう。参考資料はスタディガイドの中で提示します。</p>
授業計画		<p>第1部 「教育の方法論とはどのようなものか」</p> <p>第1章 教育方法の基礎理論</p> <p>第2章 日本の幼児教育方法の歴史</p> <p>第2部 「環境を通して行う教育の方法とはなにか」</p> <p>第3章 環境を通して行う教育</p> <p>第4章 子どもの育ちと物的環境</p> <p>第5章 子どもの育ちと人的環境</p> <p>第6章 子どもの育ちと社会的環境</p> <p>第3部 「教育の技術の理解に必要な知識はどのようなものか」</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 幼免上進シラバス

	<p>第7章 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と教育課程</p> <p>第8章 「主体的・対話的で深い学び」と教育方法の関係</p> <p>第9章 幼児理解に基づいた評価</p> <p>第10章 幼児教育・保育における遊び</p> <p>第11章 幼児教育・保育における計画と評価</p> <p>第4部 「情報機器及び教材の活用に向けて必要な知識はどのようなものか」</p> <p>第12章 幼児教育・保育における情報機器(ICT)の活用</p> <p>第13章 情報活用能力と幼児教育・保育</p> <p>第14章 幼児教育・保育のこれから</p>
成績評価の方法	単位認定試験
備考	